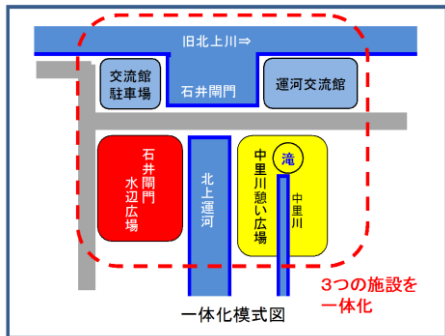


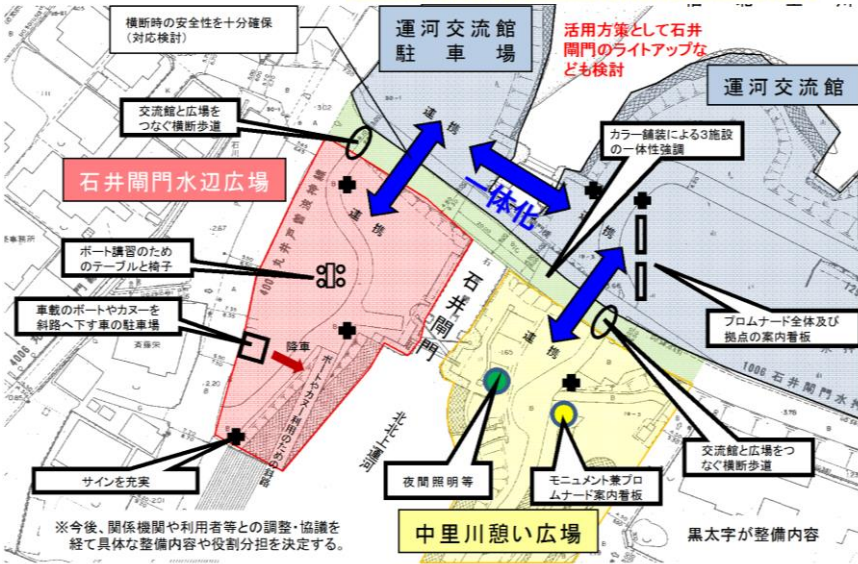
拠点  
G  
拠点テーマ

川を学び水とふれあう  
「水辺の交流広場」

拠点イメージ



●3つの施設をつなぐ横断歩道や案内看板、サイン等の整備を行うことで、3施設が一体的となるよう工夫。また施設の利用促進を図るための駐車場(一次利用)やテーブル・椅子を整備。



拠点  
H  
拠点テーマ

運河と緑の憩いの空間  
「水と緑と子供たちの広場」

拠点の方向性

- 拠点方向性
- 運河と松や桜等の緑に囲まれながら、人々が憩う空間
  - 既に公園が整備されており、散歩や部活動でのランニング、サイクリングなどでの利活用が進んでいる(新たな整備は行わない)。
  - プロムナードとしてもっと使い勝手を良くする工夫を今後検討



散策路の沿道には桜が植樹され、公園のベンチで休みながら桜が眺められる



ランニングしている学生たち



公園にある運河整備事業の看板

ルート  
5  
ルートテーマ

運河の水辺と緑を楽しむ  
「運河ルート」

ルートの方向性

- ルート方向性
- 運河の水辺と緑を楽しみながら、ボート等の水面利用や散歩、サイクリングができるルート
  - 既に散策路が整備済みであり、これを活用することを基本とする。
  - 運河沿いに並ぶ松並木が良い景観であるが、津波により松が枯れていることから、地域と一体となって従前の景観の再生を検討し、ライトアップ等の取り組みを推進する。



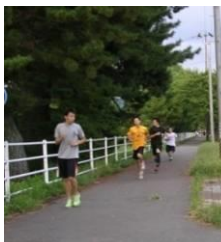
震災後も学生が運河を利用してカヌーの練習を行っている



震災後、運河沿いの松の多くが枯れている



運河沿いに散策路が整備され、運河を眺めながらの散歩や、サイクリング、運動などで利活用が図られている



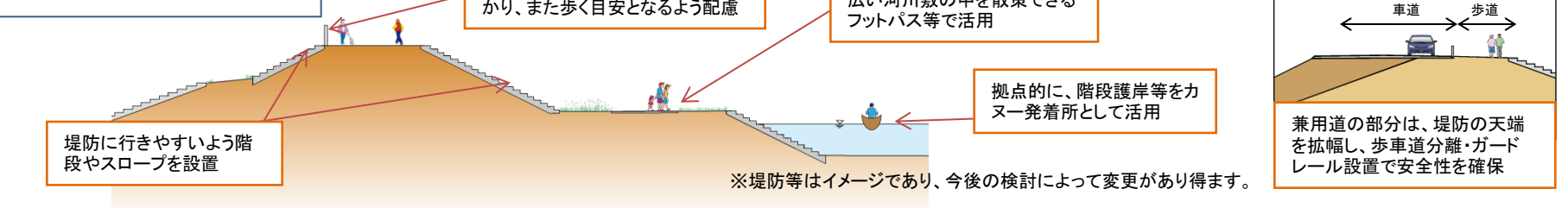
市民団体による北上運河の松並木へのライトアップ(石巻日日新聞提供)

ルート  
6  
ルートテーマ

開放的な空間の中でスポーツと学びを誘うプロムナード  
「スポーツと学びのルート」

- ルート方向性
- 対岸の町並みや、背後の田園風景を楽しみながら散歩できるルート(心地よい風を感じながらウォーキングやジョギング、散歩、サイクリングを楽しむ)
  - 石巻専修大学や総合運動公園との連携によるネットワークの拡大と利活用の推進
  - サイクリングやジョギング等の運動の利用を考慮した工夫(距離標や案内板)
  - 一部、水辺利用や水面利用を考慮した工夫(釣りやボート等)

ルートイメージ



「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」では、プロムナードの利便性、快適性の向上、更には市民に愛される石巻のまちづくり、集いと賑わいを呼ぶための利活用方策の一環としてサイン計画を立案する。

## サイン計画の目的

### ①目的地までの円滑な誘導

地元住民や観光客の人たちが、拠点等への目的地まで円滑に移動できるように誘導する。

### ②石巻について学ぶ

地元住民や観光客の人たちに、サインを通じて石巻の歴史、文化、産業等について学んでもらい、市民に愛される石巻のまちづくりを目指す。

### ③楽しさや賑わいを演出し、来訪者の増大と石巻の地域活性化を図る

利便性を向上させることだけでなく、サインのデザインにイラストやアニメを活用する等、楽しさや賑わいを演出し、来訪者の増大をめざし石巻の地域活性化を図る。

#### 【サインの留意点】

- 誰もが見やすく、わかりやすいサインとする。**  
子どもからお年寄りまで誰もが見やすく(視認性が高く)、わかりやすいサインとする。また、誘導や避難に用いるサインはユニバーサルの観点から日本語、英語及び絵文字等による表示を基本とし、必要に応じて音声案内等を活用する。
- 周辺景観との調和、融合を図るとともに、石巻らしさを演出する。**  
周辺の町並みや自然環境等の景観との調和を図り、情報的確に伝えるとともに、歴史や文化といった石巻らしさを演出する素材、デザインとする。
- サインの分類に応じて、サインのデザインを統一させる。**  
サインの分類上同じものは、統一したデザインとし、複数のサインが連携することで情報の伝達効果を高める。
- 市民のみんなで考える。**  
市民参加で「石巻のことをより分かりやすく解説する」サイン作成や設置を検討する。なお、将来に向けて、更新や充実を図っていくよう、継続していく。

## サインの分類

サインは、案内、誘導、歴史や文化等の説明、利活用のサインと避難や津波啓発の防災サインを対象とする。

	設置の目的	サインの事例
利活用サイン	①案内サイン ・全体案内(ルート・拠点の説明、トイレ、休憩施設等の説明) ・拠点内の主要施設を案内 ・現在地の表示	
	②誘導サイン ・観光客をまちの中心部からプロムナードのルートや拠点まで誘導 ・注目スポット等へ誘導	
	③説明サイン ・歴史的な地域資源を解説する ・プロムナードのルートや拠点周辺の歴史、文化、産業等、更に史跡等の地域資源を解説する	
	④その他 ・海や川の景観を楽しめる場所を示す ・河口からの現在の位置までの距離を示す ・お勧めの散策コースや目的地までの所要時間等を知らせる	
防災サイン	⑤避難サイン ・津波避難場所や避難経路などを表示	
	⑥津波啓発サイン ・津波の知識を学習し、危険性を表示 ・過去に襲った津波の高さを表示	

## サイン計画について(主な配置案)

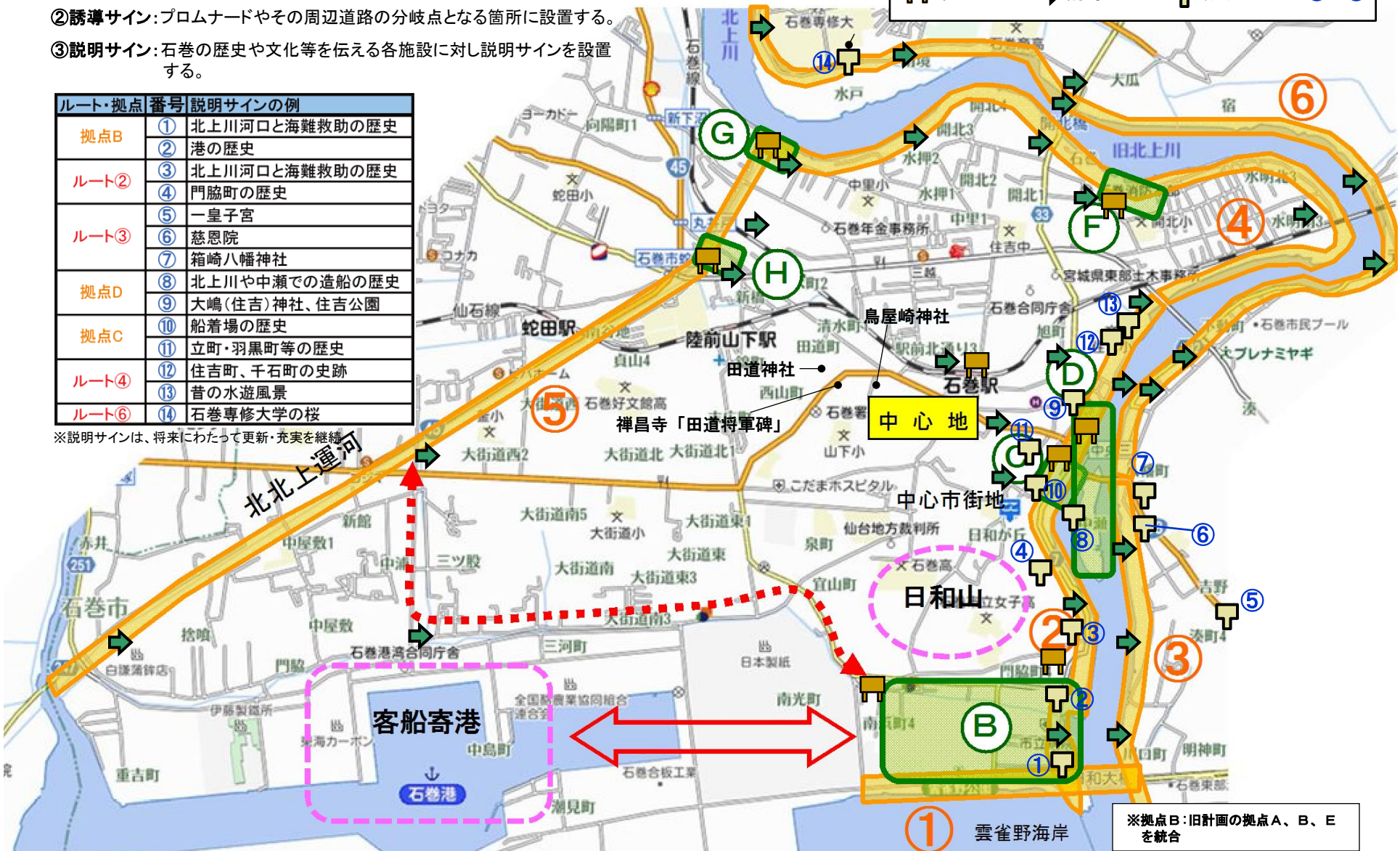
- 案内サイン:**プロムナード全体を記した案内サインは、来訪者の交通の拠点となる石巻駅や、各拠点の要所に設置する。
- 誘導サイン:**プロムナードやその周辺道路の分岐点となる箇所に設置する。
- 説明サイン:**石巻の歴史や文化等を伝える各施設に対し説明サインを設置する。

#### 【凡例】

- プロムナードルート ①~⑥
- 拠点 B~H
- 案内サイン
- 誘導サイン
- 説明サイン ①~⑭

ルート・拠点	番号	説明サインの例
拠点B	①	北上川河口と海難救助の歴史
	②	港の歴史
ルート②	③	北上川河口と海難救助の歴史
	④	門脇町の歴史
ルート③	⑤	一皇子宮
	⑥	慈恩院
拠点D	⑦	箱崎八幡神社
	⑧	北上川や中瀬での造船の歴史
拠点C	⑨	大嶋(住吉)神社、住吉公園
	⑩	船着場の歴史
ルート④	⑪	立町・羽黒町等の歴史
	⑫	住吉町、千石町の史跡
ルート⑥	⑬	昔の水遊風景
	⑭	石巻専修大学の桜

※説明サインは、将来にわたって更新・充実を継続



※拠点B:旧計画の拠点A、B、Eを統合

## ●サインプロジェクト（仮称）

サインプロジェクト（仮称）は、市民、行政、学識経験者など「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」に係る人たちの連携と協働により、サインの検討から設置を行う。また、設置後のサインの更新や充実を図る活動を継続的に行うことを想定する、市民参加型のプロジェクトとする。

▼サインプロジェクト（仮称）の連携・協働イメージ



## ●サインプロジェクトの活動方針（案）

サインプロジェクトは、以下の3つの方針で活動する。

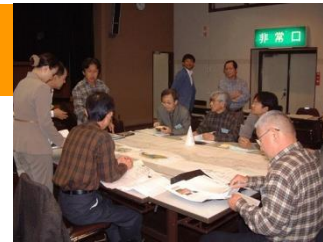
方針① 石巻の歴史や文化・産業を、観光客等の外来者に分かりやすく説明するとともに、市民にとっても、学習しながら古き良き石巻の姿に思いを馳せることのできるサインの検討を行う。

方針② 活動を通じて、石巻の歴史・文化の伝承の担い手を育成する。

方針③ 参加者が楽しみながら活動し、将来にわたって継続する。

## ①ワークショップ等によるサインの検討

・ワークショップ等を開催し、石巻の歴史、文化、産業等の解説や、個々の施設の説明等を市民との協働により検討する。



▲ワークショップの事例写真

## ②市民によるサイン検討と設置

・サインの配設置や製作、設置など、実施に向けた検討を行う。  
・例えば、製作から設置までを市民自らが実施するなど考えられる。



▲説明看板のイメージ  
市民視点でわかりやすく、深みのある説明文を作成

## ③プロムナードマップの作成

・市街地の観光施設や魅力あるポイント、トイレ、食事処、バス停留所、回遊する散策路などを分かりやすく記したマップを作成する。



▲フットパスのイメージ（最上川朝日地区）

## ④プロジェクトのフォローアップ

・分かりやすさや見やすさ等について、来訪者のヒアリングやアンケート等を実施しながら検証し、継続的にサインの内容更新や設置箇所の追加、充実を図っていく。



▲イベント風景の事例写真（遠賀川）

## プロムナードの利活用の促進に向けた取り組み（案）

### ～体制・基盤づくり～

#### 産、学、官、民が連携したプロムナード利活用促進体制の確立

プロムナード利活用促進協議会（仮称）を設立するなど、産、学、官、民が連携できる体制を確立し、利活用促進に向けた様々な取り組みを実施していく。



▲協議会風景イメージ  
第1回プロムナード計画懇談会（平成22年5月開催）

#### サインプロジェクト（仮称）

サインプロジェクト（仮称）は、市民、行政、学識経験者など「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」に係る人たちの連携と協働により、サインの検討から設置を行う。また、設置後のサインの更新や充実を図る活動を将来にわたり継続的に、市民参加型のプロジェクトとする。



▲ワークショップのイメージ

#### イベント施設やオープンカフェの設置

平成23年度の河川敷地の占用に関する規制緩和を活用し、民間事業者による河川敷地でのイベント施設やオープンカフェを設置し、水辺空間の賑わいを創出する。



▲広島京橋川の事例写真

### ～歴史・文化の学習と観光振興～

#### プロムナードツアーの企画

プロムナードの各拠点やルートの特徴を活かしたツアーをNPOやボランティア、大学などとの連携により企画、ツアーの実施を重ねることにより、より市民や観光客に満足いただけるものにレベルを高めていく。また水辺や川と親しむ各種イベントを開催し、来訪者の増大を図る。



▲イベント事例写真（海軍公園でのイベント風景）



▲観光ツアーイメージ  
（北上川石巻湊公開講座による歴史探訪）

#### 石巻の歴史・文化を学ぶ舟運の復活

昔の石巻港の歴史・文化を感じながら、来訪者の回遊、移動の足となる舟運を復活させる。



▲水上交通のイメージ

#### 観光ガイド等の育成

石巻の歴史文化に詳しい石巻マスターを発掘し、ボランティアガイド等の育成を長期的な事業として行う。



▲第8回北上川石巻湊古公開講座にて、船魂神社を探索

#### 観光パンフレット、マップの発行

来訪者へのPRとプロムナード利活用の利便性向上を図るため、プロムナードを紹介した観光パンフレット、マップを発行する。



▲フットパスのイメージ（最上川朝日地区）

### ～利便性の向上・教育～

#### ITの活用による情報提供

インターネットホームページを立ち上げ、各種情報発信を行うとともに、モバイル向けの情報提供を行う。



▲携帯でアクセス  
携帯電話で読み込めるQRコードを施設に配置

さらに、各施設に携帯電話で読み込めるQRコードを配置し、携帯電話からアクセスしたり、スマートフォン用のマップに各種情報を盛り込み、史跡や各種施設の詳しい紹介やガイドを行うことで、プロムナード散策の楽しみの向上や施設利用の推進を図る。

#### バリアフリー・レンタサイクル導入による利便性の向上

プロムナード計画に基づき整備するところにおいて、誰でも使いやすいバリアフリー化を図る。また、レンタルサイクルを導入し、プロムナードのサイクリング利用を推進する。



▲水辺のバリアフリーのイメージ



▲サイクリングでの水辺散策

#### 河川環境及び防災学習の推進

小中学校と行政、市民が連携して、石巻の特性を活かした教材による環境教育や防災教育を推進する。



▲水生生物調査風景